

2024 年度国内旅行予告編

第148回 国内旅行

紫式部と古都探訪 京都・福井 2泊3日の旅

**1日目** 東京駅⇒JR 東海道新幹線⇒京都⇒嵐山⇒トロッコ列車⇒龍安寺⇒ホテルオークラ京都  
⇒料亭左阿彌⇒ホテルオークラ京都

○JR 東海道新幹線 東京駅

「のぞみ 15号」 東京 8:12 発 京都 10:23 着



(京都タワー)

京都到着後はバスでご案内いたします。

○良 彌 (よしや) 嵐山 京都市右京区嵯峨天龍寺造路町 11:20 着

渡月橋のたもと良彌の「鰻せいろ」のご昼食を取ります。



嵐山を散策 13:30 発



(渡月橋)



(おたべ人形)

○トロッコ列車嵯峨駅 14:02 発 窓がオープンなトロッコ列車で保津川溪谷を觀賞します。



○龍安寺（世界遺産）京都市右京区龍安寺御陵下町 15:10 着 16:10 発

寺名は「りょうあんじ」と読みます。海外からの観光客の皆さんが真剣にご覧になっています。

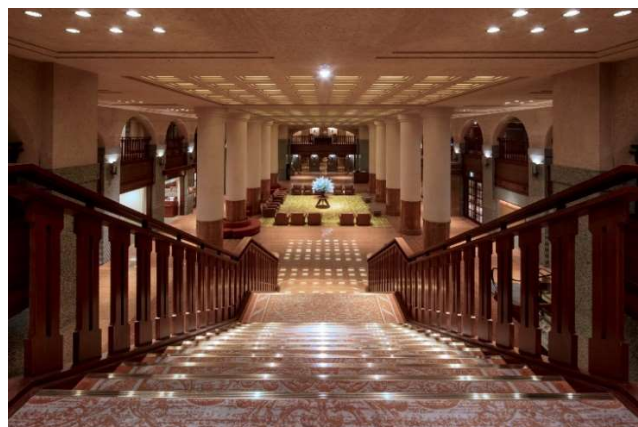


方丈庭園 (石庭)

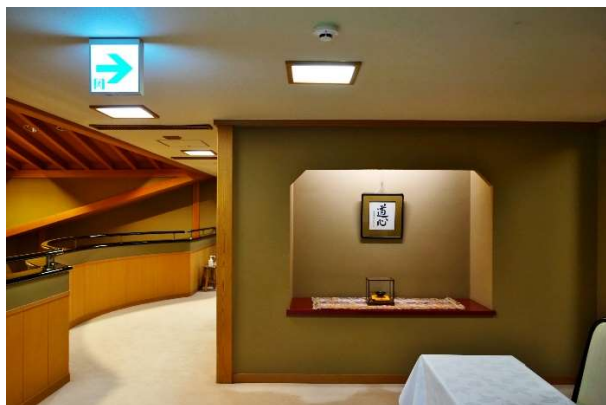


(ふすま絵)

○ホテルオークラ京都 京都市中京区河原町御池 チェックイン 16:30着 17:30発



○左阿彌 京都市東山区丸山公園 夕食 18:00着 20:00発



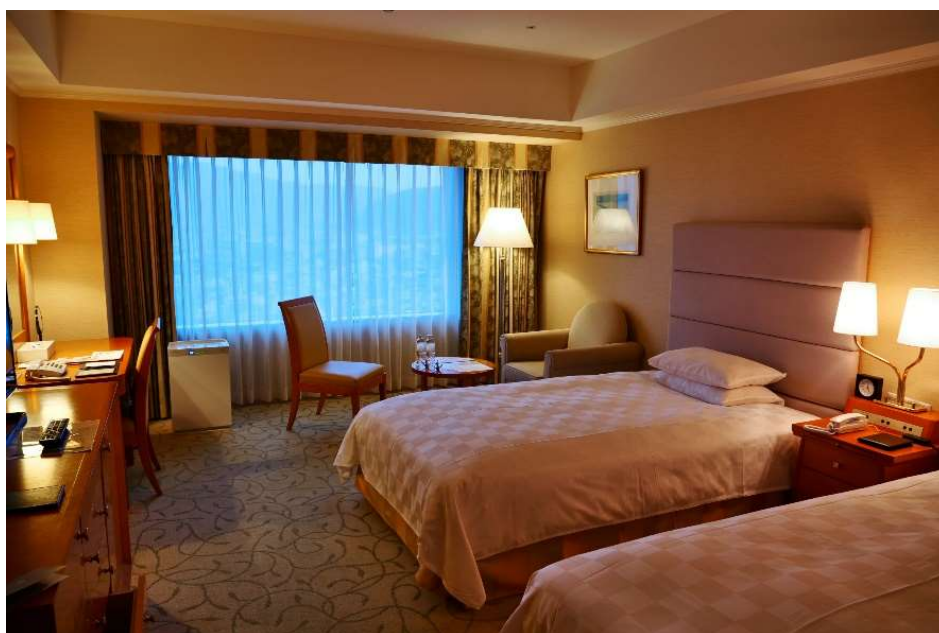
(お食事の内容は季節に合わせて変わることがあります。あらかじめご承知おきください。)

左阿彌（さあみ）は京都の老舗料亭です。写真はご夕食のスタートの様子。京料理です。



（舞妓さんが踊りを踊ってくれます。）

○ホテルオークラ京都 20：20 着



（ツインルーム）

**2日目** ホテルオークラ京都⇒石山寺/NHK 大河ドラマ館⇒黒壁スクエア⇒北琵琶湖ホテル  
グラツィエ⇒紫式部公園/紫ゆかりの館⇒あわら温泉グランディア芳泉

○ホテルオークラ京都 8:30 発



(朝食はビュッフェ・スタイルで、和食も洋食も同じレストランです。)



(卵コーナーでは、その場でお好きな具材でオムレツを作ってくれます。)

○石山寺 滋賀県大津市石山寺 9:15 着 10:15 発



石山寺（いしやまでら）は大津にあるお寺で、紫式部が「源氏物語」の着想を得たとも、執筆したとも言われているお寺です。寺の中に紫式部が使ったという「源氏の間」があります。



（源氏の間） （弥勒菩薩の手に繋がっている紐を持ってお参りします。）

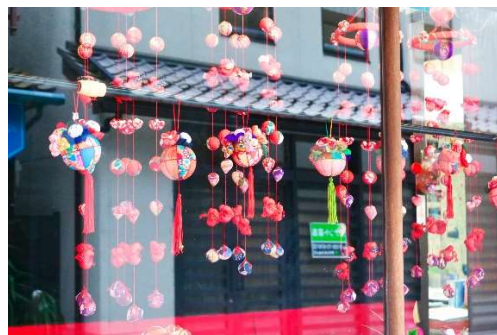
そういったわけでNHKの『光る君へ』大河ドラマ館もこちらに置かれています。



（「光る君へ」紫式部衣装）

○黒壁スクエア 滋賀県長浜市元浜町 11:25 着 11:55 発

黒壁スクエアは「秀吉楽市楽座」の流れをくむ黒壁の商店街、ガラス工芸展示場があります。





(季節柄ひな人形が飾ってありました。)

○北ビワコ ホテル グラツィエ 滋賀県長浜市港町 昼食 12:00 着 12:50 発



(メバルのから揚げ)

(近江牛)

(お食事の内容は季節に合わせて変わることがあります。あらかじめご承知おきください。)

今回の旅行は 996 年に、父親の藤原為時が越前守に任官した時に紫式部がそれに同行した旅路を追います。同行した原因はのちに夫となる藤原宣孝からのラブレター攻撃に少し距離を置きたかったからのようです。その時の旅は 5 日間かかり、琵琶湖の間紫式部は船で北上していきますので琵琶湖はこのホテルからご覧ください。我々は高速道路を使って半日で着いてしまいます。

○紫式部公園 福井県越前市東千福町 14:15 着



越前市の紫式部公園です。越前の国府の様子が一部再現されています。お隣に「紫ゆかりの館」があります。

○紫ゆかりの館 15:00 発



(旅の様子が模型化されています。)



(よく目にするこの絵は石山寺の所蔵です。)



# 京から越前国府へ およそ五日間の旅

A Journey of Around Five Days  
from the Capital to the Echizen  
Governor's Mansion

旅の一行は早朝に京都を出発し、打出の  
浜(現・浜大津)から舟に乗り琵琶湖西岸  
を北上し、琵琶湖北端の湊、塩津で上陸。  
そこからの陸路は急坂な塩津越えで  
敦賀に至り、さらに険しい木の芽峠越え  
で今庄へ、あるいは山中峠越えで藤森  
(現・丹波)から今庄へ至り、越前に到着  
します。紫式部は輿に乗っていたとは  
いえ、かなり厳しい旅でした。

The entourage departed Kyoto in the early morning, and boarded a boat from Uchide Bank (modern Hamaotsu), whereafter they sailed north along the west bank of Lake Biwa, disembarking at Shiotsu on the lake's northern end. The land road from there would have taken them to Tsuruga, beyond the steep slopes of Shiotsu. Then they would have passed the still steeper mountain pass of Kinome until they reached Imajo, or perhaps they took the Yamanaka Pass from Kabiru (modern Kaeru) to Imajo, before finally reaching Echizen. Although Murasaki was traveling in a litter, it was surely a very difficult journey.



紫式部は越前の国府で2年ほどを過ごしました。藤原宣孝からの手紙はこの間も続きましたので紫式部もついに都に帰ってゴールインすることになりました。二人の間には娘さんが生まれ、後に「大弐三位(だいにのさんみ)」というこれも百人一首に登場する歌人になります。

紫式部

めぐり逢いて 見しやそれとも わかぬ間に 雲がくれにし 夜半の月影 (百人一首 5 7 番)

大弐三位

有馬山 猪名の笹原 風吹けば いでそよ人を 忘れやはする (百人一首 5 8 番)

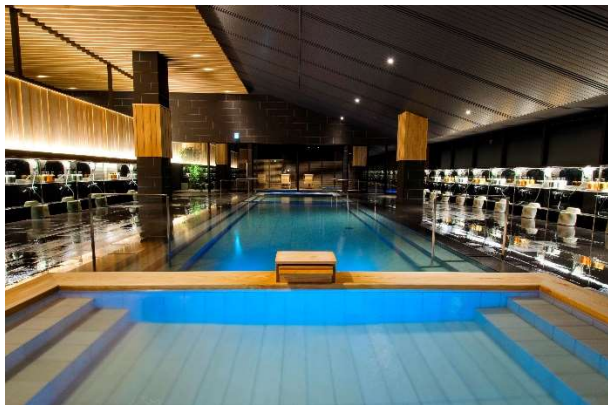
残念なのは結婚後3年ほどでご主人の藤原宣孝が疫病で亡くなってしまいます。その悲しみを乗り越えるために「源氏物語」に着手したとも言われています。

○あわら温泉 グランディア芳泉 福井県あわら市船津 16:00 着



(のどぐろ)

(お食事の内容は季節に合わせて変わることがあります。あらかじめご承知おきください。)



(浴室)

(客室)

### 3日目

あわら温泉グランディア芳泉⇒永平寺⇒羽二重餅の古里⇒聴琴亭または御殿當田屋  
⇒日本海さかな街⇒氣比神宮⇒JR 北陸新幹線⇒東京駅

○あわら温泉 グランディア芳泉 9:00 発



芳泉の朝食はビュッフェ・スタイル、和食も洋食もあります。

○永平寺 福井県吉田郡永平寺町志比 9:30 着 10:35 発



永平寺は曹洞宗の大本山であり、開山は道元です。延暦寺で仏門に入りましたが悟りが得られず宋に渡ります。



宋で如浄に入門、如浄が重視した只管打坐（しかんたざ）を自分のスタイルとして、ひたすら座禅に打ち込みます。永平寺が座禅のお寺であるのはそのためです。ところが国内では旧勢力から支持されなかった為、弟子の波多野義重が見かねて福井に招きました。福井に永平寺がある理由です。永平寺は、階段が多い建物です。お足もとにご注意してお回りください。

次は羽二重餅のメーカー、マエダセイカに立ち寄ります。

○羽二重餅の古里 福井県吉田郡永平寺町松岡吉野 10:50 着 11:20 発



羽二重餅はメーカーが永平寺のすぐ近くにありますが、福井県全体のお土産として有名です。こちらでは試食・工場見学・お買い物ができます。

○聴琴亭 福井県鯖江市下新庄町 昼食 11:45着 12:30発



聴琴亭では「越前そば御膳」を食べます。店構えや庭は「お蕎麦屋さん」とは思えません。



うどん1碗にお蕎麦3碗を様々な具材で頂きます。それにお刺身が付きます。季節により具材が変わることがございますので、予めご承知おきください。

また、食事中身体が楽な椅子テーブルが取れない班が3班あり、その班は椅子テーブルが使える「御殿當田屋」を利用します。内容は同じ「越前そば御膳」ですが食器が写真と異なりますので予めご承知おきください。

○日本海さかな街 福井県敦賀市若葉町 13:15 着 13:55 発



日本海の美味しい海産物や様々な食品、お菓子のお土産、漆器等、福井の産品がここに集まっています。築地場外を少しきれいにしたと思えば浮かべて頂ければ、分かりやすいと思われます。



各種の干物です。ノドグロやとろ鯖など、ついつい買ってしまいそうです。「火山灰干し」という高級干物もありました。調査は2月でしたので、活け蟹がいましたが実施のころは加工品になってしまう恐れもございます。

○気比神宮 福井県敦賀市曙町 14:05 着 14:35 発



気比神宮（けひじんぐう）は敦賀の駅近くに鎮座し越前の国一宮、官幣大社です。古事記・日本書紀に登

場します。この鳥居は国の重要文化財です（日本三大木造鳥居の一つ）。

第14代沖衰天皇、神功皇后、第15代応神天皇と関係が深く、日本古代史にも関わります。



本殿です。内宮に「鹿角神社」がありますが、この鹿角（つぬが）が地名の敦賀になったと言われています。官幣大社ですから菊のご紋を使っていますね。

もう敦賀駅まで5分ほどです。

○JR 北陸新幹線 敦賀駅 14:40 着

北陸新幹線 敦賀から延長開通の北陸新幹線で東京へ かがやき 510号 15:04 発



○JR 東京駅 18:28 到着予定です。

お疲れさまでしたご自宅までお気を付けてお帰り下さい。

東京シティの国内旅行は「良い宿・良いお湯・良い食事」を目指して毎年開催しております。

訪問地の有名旅館、有名店を厳選して質の高いご旅行を提供します。京都から福井へ美味しいお食事をお楽しみください。

皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加をお願いいたします。

## 実施日程

班名	日 程	店 舗 名
1 班	R6,5/21(火)～23(木)	深川支店、砂町支店、江戸川橋支店
2 班	R6,5/27(月)～29(水)	小山支店、赤羽支店、志村支店
3 班	R6,5/28(火)～30(木)	京成小岩支店、神楽坂支店
4 班	R6,6/11(火)～13(木)	新小岩支店、亀有支店、玉川支店、新柴又支店
5 班	R6,6/13(木)～15(土)	堀切支店、菊川支店、京橋支店
6 班	R6,6/17(月)～19(水)	東王子支店、池袋本町支店、豪徳寺支店
7 班	R6,6/18(火)～20(木)	日本橋支店、石神井支店
8 班	R6,6/25(火)～27(木)	蔵前支店、浦安支店、高田馬場支店
9 班	R6,7/1(月)～3(水)	野方支店、東四つ木支店、牛込柳町支店、中野支店
10 班	R6,7/2(火)～4(木)	本店
11 班	R6,7/11(木)～13(土)	秋葉原支店、押上支店

※ご出発日をご都合の悪い場合は、他店舗の出発日を選ぶことも可能です。

募集人員 : 440名(先着)/各班定員40名

旅行代金 : 165,000円(2名1室の場合)

※1名1室の場合の追加料金は50,000円 ※相部屋希望は承れません。

募集締切 【5月出発分】 2024年4月30日(火)

【6・7月出発分】 2024年5月31日(金)

※締切前に定員に達する場合もございます。 ※掲載写真は全てイメージです。

### 【調査・調整】

東京シティ信用金庫 地域戦略統轄本部長 渡邊 正之



名鉄観光サービス(株) 銀座支店 支店長代理 東崎 英行



<https://www.shinkin.co.jp/to-city/>